

都道府県・ 指定都市番号	24	都道府県・ 指定都市名	三重県	研究課題番号・校種名	1 高等学校
				教科名	農業
研究課題	<b>学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善に関する実践研究</b> ○思考力・判断力・表現力を育成する系統的な農業学習の展開に関する研究 ① 座学と実験・実習のバランスを考えた農業学習の展開 ② 生徒の関心・意欲を引き出す系統的な農業学習の指導と評価方法				
ふりがな 学校名 (生徒数)	みえけんりつあけのこうとうがっこう (573 人)				
所在地 (電話番号)	三重県伊勢市小俣町明野 1481 番地 (電話 0596-37-4125)				
研究内容等掲載ウェブサイト URL	<a href="http://www.mie-c.ed.jp/hakeno/">http://www.mie-c.ed.jp/hakeno/</a>				
研究のキーワード	プロジェクト学習      ポートフォリオ評価      記録簿 (プリント・レポート) 相互評価・自己評価      評価のフィードバック				
研究結果のポイント	○ 各学科における系統性を意識した農業学習の展開図を作成 ○ 科目「農業と環境」において、プロジェクト学習の取組とポートフォリオ評価の導入 ○ 科目「野菜」及び科目「食品製造」において、知識の定着と思考力・判断力を育成するための座学と実験・実習における記録紙の作成と能動的な学習における評価シートの作成 ○ 科目「キャリアプラン」やインターンシップにおいて、記録紙による振り返りや評価を生徒へフィードバックすることにより、身に付けたい力を再認識				

## 1 研究主題等

### (1) 研究主題

地域農業や地域産業の発展に貢献できる人間性豊かな職業人の育成に関する研究  
 ～思考力, 判断力, 表現力を育むための系統的な農業学習の展開と  
 その指導方法及び評価方法の工夫改善～

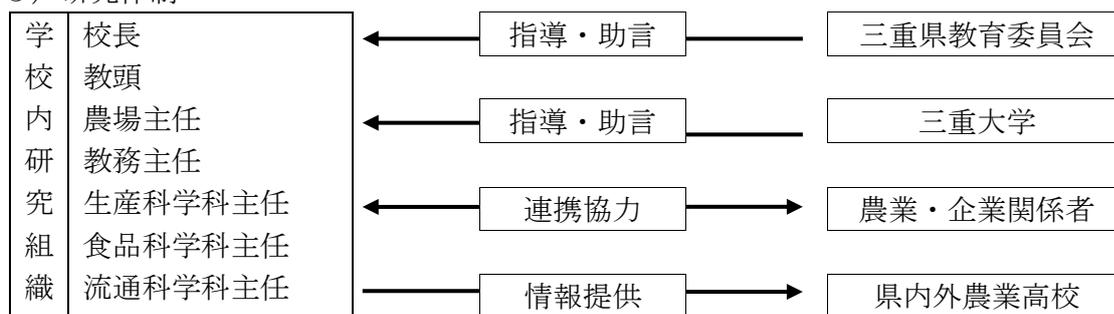
### (2) 研究主題設定の理由

本校は平成 31 年に創立 140 周年を迎える歴史と伝統のある専門高校であり、地域の社会を担う多くの人材を送り出してきた。現在は農業学科 (生産科学科, 食品科学科, 流通科学科) と家庭学科, 福祉学科の 3 学科があり地域の多様なニーズに対応した魅力ある専門教育を行っている。農業 3 科はこれからの農業や関連産業に必要な専門的な知識・技術に加え、諸課題を合理的に解決する科学的な思考力の育成を目指し、平成 27 年度に学科改編を行いリニューアルした。

一方、近年入学してくる生徒の多数は農業基盤を持たない非農家の生徒であり、高校に入学して初めて農業に触れる生徒も多い。1 年次に農業に対して持った興味・関心を 2 年次以降の農業学習の深化に繋げるためには、座学と実験・実習のバランスを考えた系統的な学習や指導方法及び評価方法についても研究していく必要があると考え、この研究主題を設定した。

また、農業 3 科が連携したキャリア教育の推進と進路実現に向けた取組を行い、今回の研究と連動させ、生徒の学習意欲を高めたい。

(3) 研究体制



(4) 2年間の主な取組

平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の計画及び日程調整</li> <li>農業学科における各科目の評価規準の作成</li> <li>科目「農業と環境」における生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施</li> <li>教員研修会（観点別評価方法・アクティブ・ラーニングについて）</li> <li>インターンシップにおける生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施</li> <li>インターンシップの記録簿の検証と改善・文集の作成</li> <li>同事業指定校への研修視察（熊本県立菊池農業高等学校）</li> <li>教育課程研究委員会の実施（3回）</li> <li>研究授業及び文部科学省からの視察</li> <li>科目「農業と環境」における生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施</li> <li>科目「野菜」及び科目「食品製造」における生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施</li> <li>学校設定科目「キャリアプラン」の記録簿の検証と改善及びアンケート調査の実施</li> <li>次年度へ向けた農業学科における各科目の評価規準等の検証と改善</li> <li>教育課程研究指定校事業研究協議会（文部科学省）への出席</li> <li>中間研究報告書の作成</li> </ul>
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年目の成果と課題の整理と年間計画の作成</li> <li>生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施</li> <li>校内委員会の開催</li> <li>系統的な学習を踏まえた年間学習指導計画の作成</li> <li>科目「農業と環境」における効果的な指導方法及び評価方法及び記録簿の検討と改善</li> <li>科目「野菜」及び科目「食品製造」における能動的学習により生徒の関心・意欲を引き出す年間学習指導計画と評価方法の検討と改善</li> <li>学科間連携による6次産業化の学習</li> <li>進路に合わせた「総合選択授業」の実施</li> <li>指導方法及び評価方法の検証</li> <li>インターンシップにおけるアンケート調査及び結果の共有化</li> <li>「明野体験教室」、「中学生対象学習成果発表会」等の実施</li> <li>研究授業及び文部科学省からの視察</li> <li>各事業における生徒アンケート調査の実施と検証</li> <li>教育課程研究指定校事業研究協議会への出席</li> <li>研究のまとめと検証及び報告書の発行</li> <li>研究成果を本校のホームページ等で発信</li> </ul>

2 研究内容及び具体的な研究活動

## (1) 研究内容

- ① 系統的な学習が進められるように、座学と実験実習のバランス等を考慮した、年間学習指導計画の改善
  - 各学科における系統性を意識した農業学習の展開図・単元配列表の作成
- ② 生徒の現状を把握したアンケート調査からの授業改善や見直し
  - アンケート調査による生徒の現状を把握した年間学習指導計画の作成及び検討
- ③ 科目「農業と環境」において、記録簿を見直し、ポートフォリオ評価を導入
  - プロジェクト学習への取組及び記録用紙の改善
  - プレゼンテーションの評価基準（ルーブリック評価）の簡略化及びおよび明確化
  - ポートフォリオ評価における振り返りシートとまとめシートの作成
- ④ 科目「野菜」及び科目「食品製造」において、能動的な学習を進めるために、座学と実験・実習のバランスを考えた年間学習指導計画の見直し
  - 科目「野菜」における年間学習指導計画の見直し、「座学プリント」と「実験・実習ワークシート」の作成
  - 科目「食品製造」における年間学習指導計画の見直し、「相互評価シート」・「自己評価シート」の作成
- ⑤ インターンシップに関して、意識調査の結果を生徒に還元できるような工夫や評価方法の検討。
  - インターンシップ訪問先担当者による「インターンシップ実習の評価」の導入
  - 事前・事後アンケートの調査項目の精選、「個人別シート」の作成及び生徒へのフィードバック
- ⑥ 学校設定科目「キャリアプラン」で、生徒の学習活動への影響を分析し、より効果的な事前・事後指導や講師選択の検討。
  - 講演会における記録メモ用紙の改善と生徒アンケートによる学習指導の見直し

## (2) 具体的な研究活動

- ① 系統的な学習が進められるように、座学と実験実習のバランス等を考慮した、年間学習指導計画の改善
  - 各学科における系統性を意識した農業学習の展開図・単元配列表の作成  
学科における目標を明確にし、各科目の関連性や身に付けたい力を意識させた。
- ② 生徒の現状を把握したアンケート調査からの授業改善や見直し
  - アンケート調査による生徒の現状を把握した年間学習指導計画の作成及び検討
- ③ 科目「農業と環境」において、記録簿を見直し、ポートフォリオ評価を導入
  - プロジェクト学習への取組及び記録用紙の改善  
問題解決型プロジェクト学習となるようにテーマを設定し、記録用紙による情報収集から分析・まとめ・発表を行い、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んだ。
  - プレゼンテーションの評価基準（ルーブリック評価）の簡略化及びおよび明確化  
プレゼンテーションの評価基準を「発表内容・発表資料・発表態度」の3項目に簡略化し、4段階のルーブリック評価シートによる相互評価・評価者評価を行った。
  - ポートフォリオ評価における「振り返りシート」と「まとめシート」の作成  
ポートフォリオ評価を導入するにあたり、「振り返りシート」で学期ごとに振り返った。「まとめシート」により自己評価を行い、今後の課題をまとめさせた。
- ④ 科目「野菜」及び科目「食品製造」において、能動的な学習を進めるために、座学と実験・実習のバランスを考えた年間学習指導計画の見直し
  - 科目「野菜」における年間学習指導計画の見直し、「座学プリント」と「実験・実習ワークシート」の作成

学習内容を整理した「座学プリント」による知識力の向上，能動的な学習である実験・実習からの情報や気付きを記入する「実験・実習ワークシート」による表現力の育成に取り組んだ。また，振り返りと自己評価の欄を設けた。

- 科目「食品製造」における年間学習指導計画の見直し，「相互評価シート」と「自己評価シート」の作成
  - パフォーマンス課題「商品開発」のロール・プレイ学習の取組，4段階のルーブリック評価による相互評価・自己評価を行った。
- ⑤ インターンシップに関して，意識調査の結果を生徒に還元できるような工夫や評価方法の検討。
  - インターンシップ訪問先における評価者評価の導入
  - アンケートの調査項目の精選，個人別シートの作成及び生徒へのフィードバック
    - 社会的な基礎力アンケートの調査項目を精選し，4段階評価とした。「振り返り個人別シート」を作成し，生徒へフィードバックした。
- ⑥ 学校設定科目「キャリアプラン」で，生徒の学習活動への影響を分析し，より効果的な事前・事後指導や講師選択の検討。
  - 講演会における記録メモ用紙の改善と生徒アンケートによる学習指導の見直し

### 3 研究の成果と課題（○成果●課題）

- 各学科における系統的な学習計画をまとめることにより，身に付けさせたい力を意識した学習指導計画と年間評価計画の作成に繋がった。
- 科目「農業と環境」において，プロジェクト学習の基礎を学び，ポートフォリオ評価を導入することにより，生徒の成長や課題などを評価することができ，指導と評価の一体化を図ることができた。
- 科目「野菜」及び科目「食品製造」において，2年次における能動的な学習により生徒の関心・意欲を高めることができた。また，評価方法の工夫により思考力，判断力，表現力の育成へと繋がった。
- インターンシップにおいて，記録簿や体験文集により勤労観・職業観が身に付いたことが確認できた。また，事前・事後のアンケート及び自己評価から身に付けたい力の再認識ができた。
- 科目「キャリアプラン」において，勤労観・職業観を高めるとともに，文書による表現力を伸ばすことができた。
- 系統的な学習計画を進めるために，生徒の現状を把握し，身に付けさせたい力を明確化し，効果的及び能動的な展開となるように，学習指導計画と年間評価計画を改善する必要がある。
- 科目「農業と環境」において，プロジェクト学習とポートフォリオ評価を意識した学習指導計画と指導方法について更なる工夫と改善が必要である。
- 科目「野菜」及び科目「食品製造」において，意欲・関心並びに知識・技術が高まるように，実験・実習や能動的な学習活動を意識した学習指導計画の工夫と改善が必要である。
- インターンシップにおいて，訪問先による評価者評価と事前・事後のアンケートの関連性について工夫と改善が必要である。
- 科目「キャリアプラン」において，生徒の現状を把握し，学習活動の内容と評価方法について更なる工夫と改善の必要がある。

### 4 今後の取組

2年間で取り組んできた基礎科目である「農業と環境」の学習内容を充実させ，学年進行による系統的なカリキュラムを学校体制として確立させたい。各科目において評価を生徒と共有することを踏まえ，系統的な学習を展開するために，達成ポイントを教員間で情報共有し，変化する流れの中で，その実現のために学習内容・評価方法について工夫と改善を図っていきたい。